

みずき

mizuki



contents

CLOSE UP.....1	CLUB ACTIVITIES6
巻頭言1	学友会だより8
本学に在学中の学生諸君へ...2	研究室から8
事務局へのご案内2	大垣女子短期大学での思い出...9
褒められる実り3	Information10
学科だより4	mizuki news12

CLOSE
UP

大型ショッピングモールで、4学科を紹介

7月9日(土)13時から16時まで大垣駅北のアクアウォークで、「大垣女子短期大学フェスティバル」を開催し多くの人に見ていただきました。この催し物は、本学の「幼児教育科」「デザイン美術科」「音楽総合科」「歯科衛生科」の4学科が、日頃の学習成果の一コマを見ていただこうと毎年開催しているものです。この日は、朝からうだるような暑い日となりましたが、会場では準備の頃から観客が集まり始め、関心の高さを伺わせました。そして、開演時間となると若さあふれるミナモダンスで開幕し、虫歯予防、エレクトーン演奏、似顔絵紹介と続き、最後はウィンドアンサンブルの演奏で幕を閉じました。会場には熱心な観客が沢山来場され、拍手や掛け声をかけて応援していただきました。



巻頭言

「知る」と「面白い」ということ デザイン美術科教授 田中 久志

必要に迫られて「日本の歴史」を勉強しなおしている。「日本史」ではなく「日本の歴史」。それも小学校で習う程度の事柄を、あれこれ探っているのだ。

探り始めてすぐに感じたのは、自身の歴史に関する知識が(浅いのはもちろんのこと)とても断片的だということ。まるで時系列的ではないのだ。昔から暗記は苦手というより嫌いだった。歴史の年号も化学記号も、とりあえず覚えなさいといったものが駄目なのである。しかし今いくつかの歴史の本(絵を描く必要から、図版の多いものが主流)や小学生の使う教科書や問題集、参考書を見たり読んだりしていると、今までバラバラに存在していた歴史上の出来事や人物の関連が見えてくる。すると、そこにある感情が見えてくる。「この時この人物は充実した気分であつたらう」とか「悔しくてたまらなかつただろう」などと。こうなれば

もう歴史はただの暗記ではなくなる。その時代を生きていた人の営みを感じられるからだ。それは私にとって、とても面白いことだ。

何かを学ぶ時に“面白い”から入ることができたらと思う。この勉強の何が魅力か(あくまで肌感覚で)が先にわかれば、理屈も記憶しなければならぬ事柄もすんなり身に入るのはないかと思う。

勉強は知識を得ることのみが肝要で、楽しいとか楽しくないとか、面白いが否かですることではないと言う人もいるが、本来知識を得ること自体が楽しい事柄であるはずだと私は思っている。それが楽しく感じられないのは別の負荷がかかっているからだと思う。

知ることを面白がる。学生たちにそんな感覚を伝えることができれば、それは私にとってもとても楽しいことである。



本学に在学中の学生諸君へ

われわれは親から受け継いだ遺伝子を内蔵したヒトとしてこの世に生を享け、さまざまな刺激を介して生育し人となり、やがて社会生活を営む人間にまで成長する存在であると思われれます。ただヒトとして遺伝子のみでは人間にはなれないのです。この外的刺激は環境からくるもので、その中核をなすのが幼少時の生育環境、それに続く教育環境が極めて重要だと思います。

諸君は今や青春の真っただ中にいるのです。心身が完成する直前にあり、ホルモンや代謝が最も盛んな時期でもあるのです。この人生で最も多感な時期は人間の精神の中核を占める大脳皮質の前頭葉が完成され、人格の形成の基盤を作る時期でもあるのです。したがってその後の人生を決定するほどの重要な時期であると思われれます。



事務局へのご案内

大垣女子短期大学は、昭和44年4月に幼児教育科でスタートし、昭和46年にはデザイン美術科、音楽総合科、昭和49年には歯科衛生科が設置され、創立以来42年という歴史の中、全国各地で活躍する卒業生は、2万数千人と言われています。

昔は、「学生生活を謳歌する」という言葉があったように、自分の人生を学生生活の中で見つける余裕があったように思います。しかし、現在はどうかでしょうか。入学試験もつかの間、就職を念頭に活動しなければなりません。特に短期大学は、

大学生活というのは長いようでとても短いものです。あっという間に過ぎ去ってしまいます。しかし、その分自由に生活が送れる時間ともいえます。また、何かに取り組み、専念して飛躍できるときでもあります。短大の学生は、やりたいこと、なりたいたいものが明確であると言われますが、皆さんが大学生活を振り返る時、充実した生活を過ごせたと実感できるような生活(特に苦勞して成し遂げたことなど)を送っていただきたいと思います。



学長 中野 哲

本学では建学の精神に基づき「自律心を持った、知性と感性のパラメータがとれた品格のある女性」を教育目標としており、それには自分自身を見つめ成長するための自己鍛錬が必要です。それぞれの分野で真面目に学習をすること以外に課外活動やボランティア活動を介して、ヒトの心の動きを体得し、自己成長を遂げることにによって、日本人の本来からの「和をもって尊とす」の道徳が十分に開花し、今の若い者は「コミュニケーション力がない」とか「自分の頭で考えよう」といふ指示待ち人間が多い」というようなことにはならないだろうか？

Nurture is above nature! 多くの人々との交流こそが人間への近道であらう。

事務局長 吉田 健

さて、事務局はと言いますと、皆さんのキャンパスライフを応援するため、大学の庶務及び備品の貸出、施設・設備の管理、授業料の収納など経理・財務に関する業務を行っている総務課、教育課程、授業及び試験などの学習に関することや、広報、学生募集、入学案内、各種証明書の発行を行っている教務・広報課、学生の補導、就職支援、欠席、休学退学等学籍に関すること、課外活動の援助及び指導、保健・医療相談、同窓会に関する業務を行っている学生支援課、書誌、参考図書の利用・文献図書の利用・検索方法の指導、資料の収集、整理、閲覧、貸出、生涯学習などの業務を行っている図書館事務室で組織しております。

学生の皆さんが、悩んだり、迷ったりしたことがあれば、各学科の先生はもちろん、事務局の職員も相談に乗ったり、応援したりしていますので、是非お越しください。



褒められる実り

植物には感情がある。庭で花や野菜を育てていると、これは事実としないけれども、毎年、異なる実りをもたらすのは、土壌や気象条件の違いだろうと思ってしまうが、心をこめて接したかというところが、結果を左右していると気づきました。

まねごと農業で、今夏はキュウリにトマトそして枝豆、ピーマンを収穫しました。土壌が良ければ世話なしの野菜、ひとり立ちできそうな背丈になるまでは、家族が自ら役割をみつめて世話をやきます。「働くとは一つの心になり、長き目的のために奉仕すること」だと習いましてから、いい環境づくりのために力を集結するのです。

キュウリは久しぶりに実りが良好でした。毎年、うどんこ病が気になるのですが、今回の苗は元気です。葉色の緑が濃くしていました。実りは夜に大きくなります。日中、十センチほどに育った実をみつけると、翌朝の収穫が楽しみ。「笑顔は、どんな人にもある宝物」と言いますが、収穫は宝物に磨きがかかることでした。

おしなべて満足できる結果でした。振り返れば昨年より、植え付け時の気持ちに、作業にもゆとりがあった。前年の失敗が思い起こされたが、そんな年もあると考える力まなかつた。収穫が始まるころは声かけをした。背が伸びたね、立派だ。きょうも実りがありがとう。水や養分は足りているかな。毎日、言葉を変える工夫もしました。

キヤリアサポーター室 松波 悦雄

植物は、近寄る足音にも敏感に反応するといえます。穏やかな足音にはリラックスするようです。だから庭のありようを見て、その家の雰囲気を感じ取ることができると言えます。手入れをするから整うのではなく、本来の生命力を引き出すために手を少しだけ寄せれば、形が出来上がっていくと考えたい。

だれも近づかないと寂しがらる。住居人が去った庭が荒れるのは、励まされもせず、漠然と育つしかない植物の「やんちゃ」ではないでしょう。

基本的に、形あるものには命が宿ると考えています。その命とどのように向き合うかと、難しく考えてはいませんが、食事をおいしくいただき、道具を便利に使うたびに、「ありがとう」と、心をこめて伝えるように努力しています。「去りゆくすべての人と物と事に感謝せよ、新しいものの来る」という教えを信じていいのです。

「でも足りない。人との向き合い方や感謝の表現が弱い」と、たしなめられるところに未熟さを痛感します。家人が行う庭の手入れに対して、美しい花や新鮮な実りで「感謝」を表す植物たちから、もっと学ばせていただかなければなりません。



CLUB

新しい「自分」の発見。
仲間との出会い！



軽音部

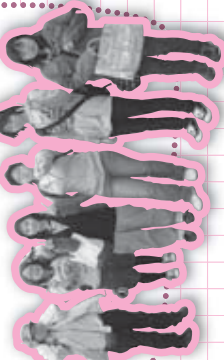
全員で楽しんでライブ!!
みずき祭を目標に、ランチャタイムコンサートや学外でライブをします。1年生から3年生のメンバーで日々楽しく練習していますので、是非一度見に来てください！
(デザイン美術科 高桑 舞)

aim

切磋琢磨しながら1つの作品を全力で仕上げる!
プロの漫画家を目指す人達が日々作品づくりに励んでいます。普段はとにもにぎやかでくだけたクラブですが、お互いの作品を勇気づけたり、意見を交わしたりと真剣な面を見せる事もあります。先輩後輩関係なく、楽しくおしゃべりしながらベンを走らせています!!
(デザイン美術科 橋口 麻利)

山歩き会

自然とたわむれる
月に一度、近隣の野山や自然の多い場所に出かけます。木曜日のお昼は三宅先生の研究室でおいなりご飯を食べながら、活動内容を決めています。山が君を呼んでいる!!一緒にたわむれなかいー!
(幼児教育科 太田 純令)



バドミントン

秋の大会で入賞するぞ!!
私達は、今、秋の大会に向けて日々練習に取り組んでいます。先輩と後輩、関係なくとも仲良くして、いつも明るく楽しいクラブです。
(歯科衛生科 武藤 稚奈)



バレエボール

秋の大会で優勝!!
現在秋の大会に向けて、日々練習しています。上下関係がないので、とても楽しくバレーをしています。
(歯科衛生科 斉藤 恵)

茶道部

美しい日本女性をめざす
毎週お茶のお点前や頂き方を練習しています。今年は1年生の部員が大幅に増え、にぎやかに活動しました。クラブを通して他の学科と交流したりととても楽しいです。
(歯科衛生科 西松 美純)

コンテント産業部

画力及び発表能力を高める
毎回「お題」を決め、それに合った絵や作品を発表し、評価しています。また、作品をもめたフォトリも制作します。
(デザイン美術科 村上 海)

パソコン部

パソコン技術の向上
皆仲良く自分のペースでイラストを描いています。5月には部員全員でしりとりにイラスト展を開催しました。今はみずき祭に向けて頑張っています!是非一度見てみてくださいね。
(デザイン美術科 近藤 佑子)



漫画研究部
楽しく! 仲間!
大好きな漫画やイラストを描き、仲間と交流しながらゆとりとした時間を過ごしています!
(デザイン美術科 辻 あずみ)

剣道部

楽しむ!!!
すきなときにすぎなだけ、剣道をしています☆
(デザイン美術科 井口 瞳)

トリアスロン

ひたすら、楽しく、明るく、元気よくをめざして!
フレッジユは1年生が2人入部してくれました。前期3年生は研修があったがハラハラでしたが「心」はひとつ!引き続き、のびのびと楽しく活動します。
(幼児教育科 宇野 有紀)



Activities

入りたいクラブがあればすぐ連絡してみよう!
分からなければ学生支援課へたずねてみよう!

V.G.トライアングル
利用者の方と音楽を通して親睦、交流を深め、楽しむ
月に一度高齢者施設を訪問し、電子オルガンやミュージックペダルなどを使って音楽活動を行っています。毎回とても楽しく、利用者の方の笑顔を見ると、私たちも笑顔になります(ハッハ)
(音楽総合科 加藤 有紗)

児童文化

子ども大好きな子集まれ!!
保育園や幼稚園などに、アンパンマンショーを披露しています。みんな和気あいあいと楽しみなから練習したり小道具などを作っています。
(幼児教育科 仲田 彩織)

地域歴史文化探訪会

地域の歴史を知る
月に1回、歴史が深い地域を巡っています。例えば関ヶ原の戦いが行われた場所へ赴き、資料館や跡地を巡り、地域の歴史について学びました。(デザイン美術科 齋藤 舞)

演劇部

みずき祭での演劇発表に向けて、見応えのある作品にする
みずき祭では毎年舞台発表をしています。今年は、去年とは一味違う発表に向けて、頑張っているのでは是非見に来てください。
(幼児教育科 柳元 未来)



写真

自然と触れ合いながら写真撮影を楽しむ
今年度の予定は、9月19日に名古屋の東山動物園に撮影に出かけます。また、10月のみずき祭には写真展を開催。来年1月の初めに「ギャラリーみずき」で作品展を行いますので是非見に来て下さい。
(幼児教育科 大澤 あず香)

JAZZ

楽しいサークルにする。
濃いメンバーで毎週活動しています。ランチャタイムコンサートなどの演奏会に向けて日々楽しく練習しています。(デザイン美術科 矢澤 早苗)

ボカロ部

動画サイトにアップロード
ボーカロイドという音声合成ソフトを使った曲づくりや動画づくりをしています。
(幼児教育科 澤田 千晶)



体芸部

体を動かしてリフレッシュ!!
月に二回程度、体を動かします。バランスポールを使って遊んだり、たわむれたり、楽しく活動をしています。爽やかにいこうぞ!!
(歯科衛生科 松永 真由香)

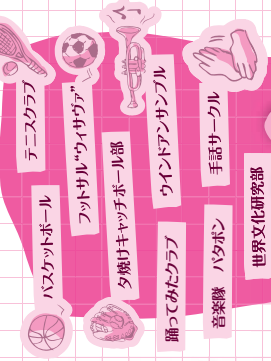
ピアノ・エレクトーンアンサンブル

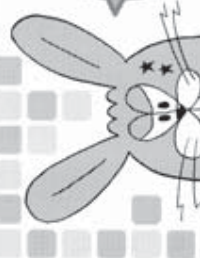
楽しくマイペースに!
私たちはみんな楽しくアンサンブルをしています。現任部員が少ないです。ピアノやエレクトーンが弾ける人、他の楽器ができる人、初心者の人、人も大歓迎です。興味のある人は、ぜひ一度遊びに来て下さい。
(音楽総合科 左馬 和貴子)



Dance

楽しく完璧に!
J-POP、K-POP、洋楽などを中心にみんなでダンスをしながら楽しく活動しています。ダンスが好きな子、興味のある子は是非一度見学に来てみてください。初心者でも大歓迎です。
(歯科衛生科 横井 愛実)





学友会だより

2011年 みずき祭

100%の〇〇

学友会長・デザイン美術科2年 井口瞳

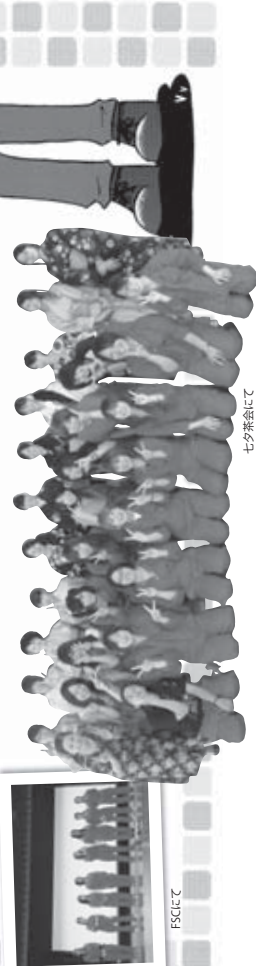
10月29日(土)に第43回 みずき祭が行われます。

テーマは「100%の〇〇」!!!

何事にも全力で取り組む学友会メンバーに
びったりのテーマです。

みずき祭に関わった100%の人が喜び笑顔になるために
学友会は100%の団結力でみずき祭を盛り上げます。

ご協力よろしく願っています。





村越 由季子

歯科衛生科

「研究室」から

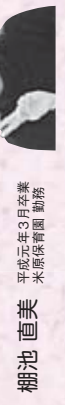
東日本を襲った大震災、洪水と心痛む災害が続いている。復興に向け努力されている方々に敬意を表したいと思う。先日「被災地における歯科保健活動は復興支援活動」と題してボランティア体験を聞く機会を設けた。活動に必要なこととして歯科衛生士の方々が共通に語られたのは、コミュニケーションとコーディネートのこと、教える意識から学ぶ意識へ、与えるのではなく(自助努力)への支援といわれている。これらは、前記の2つのキーワードと共に教育・職場でも大切だ。私は、過去に青年海外協力隊員として南米で歯科保健活動体験し、近年は、NGO団体内バーン歯科医師協力会に参加し、国際

ボランティアをさせていた。これらの活動で大切に感じたのもコミュニケーション、コーディネートする力であった。

国際協力の基本は、異文化社会を受け入れること、教える意識から学ぶ意識へ、与えるのではなく(自助努力)への支援といわれている。これらは、前記の2つのキーワードと共に教育・職場でも大切だ。私は、過去に青年海外協力隊員として南米で歯科保健活動体験し、近年は、NGO団体内バーン歯科医師協力会に参加し、国際

幼児教育科

ピンチがチャンス!



棚池 直美 平成21年3月卒業 米原保育園 勤務

平成元年9月に幼児教育科を卒業。その後保育の現場で働くようになり、早23年が過ぎようとしています。

思い返せば学生時代…。毎日の通学の満員電車の中では、友だちとのたわいもないおしゃべりに明け暮れ、そんな中でも自分たちの将来への悩みや思いを語りながら、「ババア期」と言われた時代を謳歌したものです。

働いていた保育園での仕事に就き、理想と現実のギャップに直面しながらも有意義な毎日、「保母」と言われていた時代から、国家資格化となり「保育士」と呼ばれるようになったこと。それに伴い、保育園へのニーズの多様化、保育士の専門性が求められるようになり、社会的責任の大きさを日々実感している。そんな毎日に変わってきました。

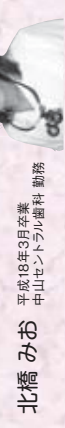
子どもたちの大きな元氣と笑顔に囲まれながら、大きな感動・小さな感動、大きな喜び・小さな喜びを感じられる幸せ、でも時には失敗し、落ち込み…涙すること。

これからもこんな毎日を通して心に感謝、そして支えて下さるたくさんの人に感謝しながら生きていこうと思います。

「ピンチがチャンス!」後輩に送る言葉です。学校での学びを礎にし、これからおこるいろいろな困難にも挫けず、自分らしく活躍されることを心より楽しみにしております。

歯科衛生科

6年目を迎え



北橋 みお 平成18年3月卒業 中山セントラル歯科 勤務

たくさんさんの医院がある中で今の医院に勤務し、患者さまに向き合い衛生士として接することの大切さを日々実感しています。

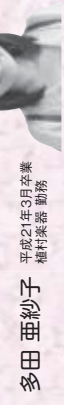
私の学生時代は楽しさを求め、実習などは真剣に向き合っていました。みなさんはどうですか? 髪型や服装、ユニットの清掃方法から診療室の歩き方まで、「こんなに細かく指導しなくても」と誰もが一度は思ったことではないでしょうか。

こんな些細なことですが社会に出ると大変な気づきになります。勉強はできなによりはできた方がいい、卒業してからもだもたさん学んで練習しての繰り返しです。でも身だしなみや行動は一つ一つがみなさんの卒業し勤務一日目から身だしなみや行動は一つ一つがみなさんの個性となります。私のいる石川県には衛生士学校が一つしかなく、医院にはさまざまな学校の衛生士が集まっています。そんな中、大垣で学んだ礼儀や作法、身だしなみは本当に指導して頂いてよかったですと実感します。

歯科衛生士になら6年、短大の先生方には感謝の気持ちでいっぱい。そしてずっといろいろな事を聞き、学んではおかげさまであります。3年はとても短い。美しいこと、辛いことなどいろいろなことがありました。みなさんには周りの先生方や友達と「今!」という時間を大切に過ごして、この学校の卒業生でよかったと思っていきたいと思います。

音楽総合科

学生時代に学んだこと



多田 亜紗子 平成21年3月卒業 植村楽器 勤務

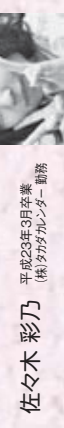
私は音楽総合科ウインドアンサンブルコースを卒業して、現在は植村楽器で働いています。楽器販売や音楽教室の受付などが主な仕事内容です。

在学中は演奏家コースを専攻していたため、楽器店に関する知識がほとんどない状態からのスタートでした。その時設立されたことは、任された仕事の中で自分から求められていることとは何か、ということを見つめたいなという心です。学生時代は、ウインドアンサンブルという社会の中でどんな行動をするべきか、ということを常に考えて行動していました。これは次に与えられる仕事を予測して行動する、という意識に繋がります。この意識が社会で働いていく上でとても重要です。その能力を、学生時代知らず知らずの間に身につけていました。これはウインドアンサンブルという特殊な環境があつてこそ得られるものだと思います。また、楽器の購入を迷っているお客様に対し、演奏者としての意見を伝えるということも大きく役立っています。自分が学んできたこと、お客様の楽器選びの力となれたとき、この上なく喜びを感じます。

大垣女子短期大学で想像もなかった職業に出会えたことが私の人生を大きく変えました。思い描いていた将来とは全く違ふものとなりましたが、この職業に就かずに後悔は味わわなかったやうに感じています。皆さんも様々な可能性を信じて夢を実現させてください。

デザイン美術科

短大での2年間で振り返って



佐々木 彩乃 平成23年3月卒業 梅ヶ丘カレッジ 勤務

大垣女子短期大学を卒業して、早4ヶ月が過ぎました。一社会人として仕事に就き生活する中で、この大学で過ごした2年間の糧が感じられます。2年という短い間で、私が私にとっても充実した学生生活でした。その理由は大きく分けて2つあります。

1つ目は、私がこの大学に入りたいと思った最大の理由、デザインの知識を学ぶことができたことです。他の学科では学ぶことができない専門の授業では、デザインについても様々なジャンルの知識を、自分で着々と実習に制作しました。時には先生方から厳しい評価を受け落ち込むことも多々ありましたが、その失敗を自分の糧として大きく成長していくことができました。2つ目は、同じ志を持つ学生と、沢山の思い出を作ることができたことです。授業では、お互いの作品を評価し合うことで、より良い作品を作ることができました。また授業以外でも、学外研修やさまざまな活動などでは、他の学科の学生とも協働を大切にしながら、本当に楽しく活動することができました。

し、学んだ日は、今の自分を育ててくれた要不可欠な時間です。

そして、先生や友人の助け無しには、こんなにも楽しく充実した学生生活を送ることができなかった、と本当に感謝しています。

この大学、このデザイン・美術科で学んだことを忘れないよう、生かしていけるようこれからも生きていきたいです。

リスト音楽院から教授陣が本学を訪問し、レッスンや公開練習を披露

世界的に知られるハンガリー国立リスト音楽院から、今年も7月23日から3日間、ファルヴァイ教授(ピアノ)、オンツァイ教授(チェロ)、サバディン教授(ヴァイオリン)の3教授が本学を訪問し、音楽総合科ピアノ専攻の学生4人にレッスンをしたりピアノ三重奏曲の公開練習をしたりして本学との交流を深めました。ピアノレッスンでは、受講生の母親が指導内容を熱心にメモに書き留め、共に受講している様子が見られました。また24日には、公開練習としてメンデルスゾーンのピアノ三重奏曲を本番さながらに演奏されました。この日、ちょうどオープンキャンパスと重なったことから、学外の人々も訪問され迫力ある演奏に聴き入っていました。なお、リスト音楽院との関係は2年前から始まったもので、県内外の音楽関係者の間で話題となっています。



※写真は左からオンツァイ教授、ファルヴァイ教授、サバディン教授

パリからのマンガ留学生、今秋にも来日



※昨秋の留学生たち

本学は、昨年秋からパリ・ユラジウム校からマンガを学ぶ留学生を迎えています。これは、短大の交際化と話題性を考えて検討を進め、岐阜県国際課の協力を得て始まったものです。昨年は、後期授業から科目履修生として女子留学生7人と男子留学生3人を迎えました。宿泊、授業などいくつかの課題があったものの、留学生達は熱心に勉強をしたことなど大きな成果がありました。また、マスコミにも多々取り上げていただき、フレッシュな話題を提供することができました。ユラジウムからの留学生は、今秋、女子3人男子2人の5人を迎えて授業を開催します。本学としては、留学生が学校や日本生活に早く馴染み、更に本学の学生同士仲良くなりお互いの文化を理解し、国際感覚を高めてくれることを願っています。

本格化する「おにごっこ」運動

一昨年前、本学に「おにごっこ」運動推進委員会の事務局が移転して以来、本学において研修会や大会が開催され協力してきました。また昨年、おにごっこ博士として知られている羽崎泰男氏が本学の客員教授となり、本学の特色ある教育に活用する動きが出始めました。「おにごっこ」運動は、かつて子どもの遊びの王様であった「おにごっこ」を見直し、子どもの健康増進や体力向上、ふれあい、仲間づくりなど遊びから学んだ『日本の子供文化』を現代に活かそうとするものです。こうした中、「おにごっこ」関ヶ原合戦の企画が持ち上がり、8月末には関ヶ原町今須小中学校で研修会を開催しました。当日は羽崎氏を講師にお招きし、今須小中学校の児童生徒の他、PTA関係者、教職員、町民の皆さんが集まり、おにごっこの説明と実践をしました。本学からは学生6名が参加しました。同運動は、秋に地域の大会を開催し、来年にはくぎふ清流国体、大会に合わせて更に規模の大きな活動を展開することになっています。



※写真は昨年の様子

大垣女子短期大学

Ogaki Women's College

〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 TEL. (0584) 81-6811 (代) FAX. (0584) 81-6818 <http://www.ogaki-tandai.ac.jp>

【学科構成】幼児教育科・デザイン美術科・音楽総合科・歯科衛生科



◆(財)短期大学基準協会による第三者評価が始まった初年度の平成17年度、全ての評価領域において「適格」認定。



◆平成19年度、全ての校舎、耐震補強完了。
◆平成14年度から学内外全面禁煙。



平成20年度 文部科学省 教育GP
大垣女子短期大学
地域の子育て施策を活用した教育方法の改善

◆大垣女子短期大学の教育活動が平成20年度文部科学省選定の「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に選ばれました。

大垣女子短期大学通信

みずき 2011 秋号 No.27

発行日/平成23年9月1日
編集/広報委員会
発行/大垣女子短期大学
E-mail tosho@ogaki-tandai.ac.jp